

秩父地域農林水産業振興プランの概要（令和8年6月策定）

○ 策定趣旨

埼玉県では、埼玉県農林水産業振興条例の基本理念にのっとり、本県の農林水産業・農山村の将来像を示し、これを実現するための施策を計画的に推進するため、令和8年3月に「埼玉県農林水産業振興基本計画」を策定。「埼玉県農林水産業振興基本計画」の策定を受け、秩父地域の農林水産業の振興を図り、目指す姿の実現に向けた取組を推進するため、「秩父地域農林水産業振興プラン」を策定した。

【 計画期間：令和8年度～12年度（5年間） 】

特色

みどり認定者、ちちぶ山ルビーの作付面積、林野火災跡地復旧等対応を地域独自の取組として位置付け

1 秩父地域の現状と課題

1 食料・農業

- (1) 豊かな自然や伝統文化などの資源に恵まれ、観光農業が盛ん。
- (2) 秩父オリジナルのぶどう品種「ちちぶ山ルビー」を始めとした特徴ある多様な農産物を生産
- (3) 中山間地域のため不整形で狭小な農地が多い
- (4) 意欲ある担い手の育成・確保による農産物の生産力の向上が必要

2 森林・林業

- (1) 水源かん養等の機能を発揮し、県民の生活基盤を支えている
- (2) 人工林の8割が伐採期
- (3) 木材生産のため森林の集約化・団地化が不可欠だが、所有者や境界不明な森林が多く進まない
- (4) シカ・クマによる食害が深刻
- (5) 木材の利用拡大の推進が必要

3 農山村・多面的

- (1) 森林ふれあい施設等をはじめとする体験学習の場として広く利用されている
- (2) 農林業体験や地域ボランティア活動が盛ん
- (3) 良好な山村風景、祭り等の伝統文化の継承、体験の場の提供など、様々な場面で農山村の多面的機能を発揮
- (4) 過疎化や高齢化が進行しているため、地域活動を支えるリーダー育成が必要

2 将来像

1 観光農林業や新たな担い手による収益性の高い農業

- (1) 顧客ニーズに対応した多様な観光農業の展開
- (2) 新規就農者等による農業生産や法人化による規模拡大が進展
- (3) 農産物加工品のブランド化による販路拡大
- (4) 鳥獣害対策や家畜伝染病まん延防止対策が進展し、安心して生産活動を実施
- (5) 農林水産業の生産活動等に由来する環境負荷を低減し、環境に配慮した持続可能な農林水産業が実現

2 多面的機能の高い森林と活力ある林業

- (1) 適切な森林整備により多面的機能が向上
- (2) 地籍調査や森林境界明確化が進み、森林の集約化・団地化が進展
- (3) 森林管理道や作業道が効果的に配置され、効率的な素材生産及び再造林・保育が実現
- (4) ICT の活用により労働生産性と安全性が向上
- (5) 野生鳥獣の被害対策等が進展し、森林被害が減少

3 地域資源を活用した魅力ある農山村

- (1) 地域住民の共同活動により地域が活性化
- (2) 地域住民や市町等が連携し農地の管理や鳥獣害対策に取り組み、豊かな農山村景観を形成
- (3) 農林業体験を通じ、秩父に魅力を感じた都市からの移住者が増加
- (4) 森林とのふれあいを通じ、森林の多面的機能に対する県民の理解が促進

3 将来像の実現に向けた取組の展開方向（目標：令和12年度）

1 顧客ニーズに応じた農林水産物の供給と高付加価値化の推進

- (1) 取組内容：野菜・果樹・特産作物等の生産振興、収益性の高い観光農林業経営の展開 等
- (2) 数値目標

需要に応じた野菜の作付拡大面積	26.2ha	
契約野菜対応型野菜産地育成数	3産地	
県産農産物コーナー新規設置店舗数	1店舗	
基盤整備面積	146ha	→ 146ha

2 多様な経営体の育成確保

- (1) 取組内容：多様な担い手の育成確保、地域ぐるみの営農体制の整備、スマート農業の推進 等
- (2) 数値目標

スマート農業技術の導入件数	9件	→	16件
担い手への農地集積率	16.1%	→	30.6%
遊休農地解消・活用面積	313ha		
農業法人数	85 法人	→	103 法人
新規就農者数	17 人/年間	→	17 人/年間

3 持続可能な木材生産と活用の推進

- (1) 取組内容：林業基盤の整備、森林の情報化、スマート林業の推進 等
- (2) 数値目標

森林の整備面積	5,780ha		
施業のため集約化・団地化する森林面積	14,363ha	→	17,000ha
県産木材の供給量	65,000 m ³ /年間	→	102,300 m ³ /年間
県産木材を利用した公共施設数	311 施設	→	390 施設
路網密度	19.3m/ha	→	21.4m/ha

4 災害、鳥獣害、家畜疾病等のリスク対応

- (1) 取組内容：農業災害対策や山地災害未然防止と復旧対策、鳥獣害対策の推進 等
- (2) 数値指標：防災・減災対策に着手した防災重点農業用ため池の数 3か所 → 12か所

5 農山村振興と住民の多様なかわり創出

- (1) 取組内容：体験交流活動に取り組む団体等への支援、生産基盤、生活基盤の整備支援 等
- (2) 数値指標：新たに農業の6次産業化により開発された商品数 25 品目

6 環境負荷低減の推進と多面的機能の発揮

- (1) 取組内容：環境にやさしい農業や安全・安心な農産物供給の推進、農地の有効活用 等
- (2) 数値指標：多面的機能を発揮する共同活動の実施面積割合 20.4% → 23.7%

地域指標（秩父農林振興センター独自の取組）

- (1) みどり認定者（環境負荷低減事業活動実施計画の認定者） 6経営体 → 40 経営体
- (2) ちちぶ山ルビーの作付面積 3.8ha → 4.3ha
- (3) 秩父市浦山地区林野火災跡地復旧等対応面積 102ha